

教科・領域名		家庭	
学科・学年・形態		生産技術科、環境・流通サポート科全学年	
教科・領域の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成する。		
	知識及び技能	(1)家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	
	思考力、判断力、表現力等	(2)家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	
	学びに向かう力、人間性等	(3)家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	
各段階の目標		1 段階	2 段階
	知識及び技能	ア 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	ア 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	イ 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	イ 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	ウ 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	ウ 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。
主な学習内容			
□題材名 〈 〉 分野 () 時数 ○目標 ・指導内容 【 】他教科との関連性			
学期	1 学年	2 学年	3 学年
1	□オリエンテーション（１） ○１年間の学習内容を知る。 ・１年間の学習 ・実態把握 □衣服の選択＜衣食住の生活＞（２） ○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、衣服の適切な選択について理解する。 ・衣服と社会生活との関わり ・目的に応じた着用 ・個性を生かす着用 □布を用いた製作 ＜衣食住の生活＞（８） ○用具の安全な取扱いについて知り、目的に応じた縫い方で布製品を製作する。 ・刺し子ランチマットの製作 手縫い：なみ縫い、まつり縫い ミシン：直線縫い 【数学、美術】 □日常食の調理＜衣食住の生活＞（１） ○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した調理実習の手順を理解し、実践する。 ・調理の流れ（準備、調理、片付け） ・宿泊研修の調理 【数学、理科】	□オリエンテーション（１） ○１年間の学習内容を知る。 ・１年間の学習 □家庭生活での役割と地域との関わり＜家族・家庭生活＞（１） ○家庭生活において、地域の人々との協力が大切であると気付く。 ・家庭生活の地域の人との協力 ・家族と地域の人との関わり □衣服の選択＜衣食住の生活＞（１） ○衣服の素材や表示の見方が分かり、適切に衣服を選択できる。 ・衣服の適切な選択（組成表示、取扱い表示、サイズ表示） ・衣服の購入 □布を用いた製作 ＜衣食住の生活＞（６） ○用具の安全な取扱いについて理解し、目的に応じた縫い方を考え、布製品を製作する。 ・ティッシュケースの製作（手縫い：まつり縫い、かがり縫い、ボタンつけ、ミシン：直線縫い） 【数学、美術】	□オリエンテーション（１） ○１年間の学習内容を知る。 ・１年間の学習 □衣服の手入れ＜衣食住の生活＞（１） ○衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。 ・衣服の材料に応じた日常着の手入れ（綿、毛、ポリエステルなど） ・衣服の洗濯（洗濯表示、洗剤、洗い方・干し方） ・衣服の手入れ（保管、補修） 【理科】 □消費者の基本的な権利と責任 ＜消費生活・環境＞（３） ○消費者被害の背景とその対応について理解する。 ○消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について分かる。 ・消費者被害の背景と対応 ・消費者の基本的な権利と責任 ・消費行動と環境の関わり 【総合的な探究の時間】 □布を用いた製作 ＜衣食住の生活＞（６） ○製作に必要な材料や手順が分かり、目的に応じた縫い方を理解し、工夫して布製品を製作する。

			• 簡単な小物や袋物等の製作（製作計画、ミシン縫い：直線縫い、手縫い：必要な縫い方） 【数学】 □食事のマナー＜衣食住の生活＞（１） ○食事の選択や食事のマナーを知る。 • 見学旅行校外学習
	12 時間	9時間	11 時間
2	□衣服の選択＜衣食住の生活＞（１） • 制服着こなしセミナー（外部講師） 【職業】 □布を用いた製作（２） □自分の成長と家族＜家族・家庭生活＞（２） ○自分の成長と家族や家庭の生活との関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付く。 • 自分の成長と家族 • 家族や家庭の機能 • 家族の役割分担 【総合的な探究の時間】 □食事の役割＜衣食住の生活＞（５） ○生活の中で食事が果たす役割について理解し、健康によい食習慣について考える。 ○いろいろな食品を組み合わせ、朝食の献立を考える。 • 生活の中で食事が果たす役割 • 健康によい食習慣 • 食品と栄養の関係（５大栄養素、６つの食品群） • 朝食の献立 【理科、総合的な探究の時間】 □日常食の調理＜衣食住の生活＞（２） ○食品や調理用具等の安全と衛生に留意し、材料に適した加熱調理の仕方を理解する。 • 調理用具等の安全と衛生に留意した管理 • 材料に適した加熱調理の仕方 【数学、理科】	□布を用いた製作（３） □日常食の調理＜衣食住の生活＞（６） ○日常生活に関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理を理解する。 ○加工食品を工夫して献立を立てる。 ○食品や調理用具等の安全と衛生に留意し、加工食品を活用した日常食の調理ができる。 • 用途に応じた食品の選択（生鮮食品、加工食品、食品表示） • 食品の安全と衛生に留意した管理 • 加工食品を使った献立 • 調理用具等の安全と衛生に留意した管理 • 加工食品を使った調理 【数学、理科、総合的な探究の時間】	□布を用いた製作（２） □必要な栄養を満たす食事＜衣食住の生活＞（２） ○自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、１日分の献立について考える。 • 自分に必要な栄養素の種類と働き（炭水化物、たんぱく質、脂質、無機質、ビタミン、食物繊維、水） • 食品に含まれる栄養素 • １日分の献立 【理科、総合的な探究の時間】 □日常食の調理＜衣食住の生活＞（２） ○食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 • 調理計画 • 調理用具等の安全と衛生に留意した管理 • 日常食の調理 【数学、理科】 □高齢者の生活＜家族・家庭生活＞（１） ○高齢者の生活の特徴を知り、関わり方について考える。 • 高齢者の生活の特徴 • 高齢者との関わり方 □家庭生活における健康管理と余暇＜家族・家庭生活＞（１） ○健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践する。 • 健康管理と余暇の過ごし方 【総合的な探究の時間】
	12 時間	9時間	8時間
3	□消費生活＜消費生活・環境＞（４） ○購入方法や支払方法の特徴が分かり、必要な金銭管理の必要性に気付く。 • 物資とサービス • 購入方法 • 支払方法 • 計画的な金銭管理 【総合的な探究の時間】 □住居の基本的な機能	□乳幼児の生活＜家族・家庭生活＞（１） ○乳幼児の生活の特徴を知り、関わり方について考える。 • 乳幼児の生活の特徴 • 乳幼児との関わり方 □消費生活＜消費生活・環境＞（３） ○売買契約の仕組みを知り、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。	□衣服の選択と身だしなみ＜衣食住の生活＞（４） ○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用について理解する。 • 社会人としての衣服のマナー（冠婚葬祭） • ビューティー講座（外部講師） • スーツ着こなしセミナー（外部講師） 【職業】

	＜衣食住の生活＞（１） ○家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知る。 ・住居の基本的な機能 ・家族の生活と住空間	・売買契約の仕組み ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集と整理 【総合的な探究の時間】 □快適で安全な住まい ＜衣食住の生活＞（１） ○家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現する。 ・安全な住まい ・住空間の整え方	□食事のマナー＜衣食住の生活＞（２） ○テーブルマナーを理解する。 ・食事のマナー ・校外学習 ・テーブルマナー講座 【総合的な探究の時間】 □日常食の調理＜衣食住の生活＞（１） ・謝恩パーティーの調理 【総合的な探究の時間】
	５時間	５時間	７時間